

|し|ま|ね|海|洋|館|機|関|誌|

神話の海から

Vol. 35
2022

特集

ほっこりエピソード

アクリスから

ほっこり **幸** せ気分を

お届け！



アクアス

お魚飼育スタッフが語る

ほっこりエピソード

今だからこそ届けたい！魚類飼育員が感じた
毎日をちょっとハッピーにしてくれる心温まるエピソードを紹介！
アクアスからみなさんへほっこりをお届けします(*´ω`)



小さな来館者にほっこり

毎年、春～夏頃になると、アカテガニなどのカニがどこからともなく来館してきます。館内のいたるところで歩いているため、飼育しているカニが逃げたのではないかとしばしば心配されます。お客様はびっくりしますが、アクアスの職員にとっては毎年恒例のことなので、カニを見ると「今年もやってきたか！」と少しほっこりします。

スゴ技にほっこり

バックヤードにいるネズミフグを観察していた時のこと。水槽に入れているエアレーションの前で、口から水を吹いた瞬間…なんと、シロイルカ顔負けのバブルリングができました!! 偶然でしたが、ネズミフグのスゴ技を見ることができて、フグ好きな私はほっこりとても幸せな気分になりました!



成長にほっこり

昨年の夏、アクアスで初めてオカヤドカリの赤ちゃんが生まれました! 生まれたばかりの頃は、陸ではなく水中で生活しています。初めは、体がエビのような形をしています。脱皮を繰り返して、貝殻を背負うようになります。そのため、赤ちゃんの成長に合わせて、体に合う小さな貝殻を水槽に入れたり、陸場を準備して環境を整えてあげたりして、愛情をたっぷり注いで飼育しています! 初めて貝殻を背負った時も、初上陸の時も、無事に脱皮できた時も、「よくがんばったねー!」という気持ちになり、オカヤドカリが成長していく姿にたまらなくほっこりします。



採集中にほっこり

アクアスで展示するためのヒトデやクラゲは、時期をみて採集しに行きます。たくさん採集できた日はそれだけでほっこりするのですが、さらに嬉しいことに、海で出会う地元の方や釣り人、子どもたちが声をかけてくれます。



「あっちにいます!」と生き物の場所を教えてくれたり、「どうやって採るんですか?」と興味を持ってくれたり、「がんばってください!」と応援してくれる方もいます。採集中に出会う方々の温かさに毎回ほっこり!

必死な姿にほっこり

生き物たちの大好きなご飯の時間。多くの魚同様、マツカサウオも水面上がって来てエサを待ち構えます。早速エサのオキアミを落とすと…「じ〜っ。」じっくり見て「バクッ!!!」食べたのかと思いきや、あんなにじっくり見ていたのに的を外すマツカサウオ。無情にもエサは沈んでいきます。毎回何度か失敗しながらやっとエサにありつく様子は、もどかしいながらもほっこりする時間です。



忙しい中でほっこり

飼育員のお仕事は1日中バタバタと忙しく、なかなか気を抜く時間がありません。そんな中で私がホッとできる時間…それは、「ミズクラゲのエサやり」です。自作の長いスポイトを使って、1個体ずつエサとなるプランクトンをやさしく吹きかけてあげます。魚ならば一目散に水面上がってきますが、ミズクラゲはそんな時も水流まかせ。ゆったりと水流に乗って上がってきます。もちろん時間はかかるのですが、のんびり流れるこの時間、私も癒されながらほっこりタイムを楽しんでいます。



アピールにほっこり

アクアスのクエはアピール上手なんです。お食事タイムの時は、口を広げたまま立ち泳ぎで近づいてきて、「餌をちょうだい〜い」とおねだり! 水槽掃除の時も飼育員の目の前までやって来て、大きな口をゆっくりと広げて、「水かけて〜」とアピール! 水をかけるとさらに口を大きく広げて、気持ち良さそうにしています。その姿が可愛らしくて、いつもほっこりしています。



ギャップにほっこり

いつも我が物顔で泳いでいる石見万葉の磯のコブダイ。夕方頃になると岩にピタリ挟まって休んでいることがあります。そんな狭いところ…、そんな態勢で?と思うのですが、何だか落ち着いている様子を見ると、こちらもほっこりしてしまいます。



写真でプチほっこり

 餌用のイカ ちぎったエンペラー(ミミ)が 小さなエイに見えた	 コモリザメとネムリブカ 仲良くお休み中	 メイタイシガキフグ 上目遣いで餌をおねだり	 コケギンポ サザエの殻からひょっこり
--	----------------------------	------------------------------	---------------------------

飼育員同士でほっこり
誕生日にパーセーソングを
歌い合っほっこり!



ほっこりエピソードで温まっていただけでしたか? みなさんもぜひ、生き物たちのほっこりする姿や自分の身近なほっこりを探してみてくださいね(*´ω`)

生き物たちの Love Love Love

生き物たちのアツい愛をちょっぴりのぞき見♡
様々なかたちの愛がアクアスで生まれています。

愛のハートマーク

「ポットベリーシーホース」

オスはお腹をパンパンに膨らませて、メスにアピールします。オスのお腹には、卵を育てるための「育児のう」と呼ばれる袋があり、メスはオスのお腹に卵を産みます。タイミングを合わせて水槽内を上下に泳ぎ、お腹をくっつけ合う産卵の姿は、まるでハートマークのようです。オスはお腹の中の卵を育て、孵化した赤ちゃんを産みます。

愛の噛みつき

「アカエイ」

アカエイをはじめとするエイやサメの間は、繁殖のためにオスとメスが交尾をします。オスのお腹側には「クラスパー」と呼ばれるおちんちんがあり、交尾の時に使います。泳ぎながら交尾することは難しいため、オスとメスの体が離れないようにオスがメスの体に噛みついて求愛します。そのため、モテルメスは体が傷だらけになってしまいます。

愛の子育て

「ハマクマノミ」

ペアになったオスとメスは、水槽内の壁などに産卵し、卵のお世話はオスとメスが交代で行います。孵化するまでの間は、外敵に警戒しながら、口や胸鰭を使って卵に新鮮な海水を送ります。卵についた汚れもきれいに掃除し、つきっきりでお世話をします。

愛の数珠繋ぎ

「アメフラシ」

アメフラシは、体の前にオス、後ろにメスの生殖器がありますが、1個体では愛を育むことはできません。しかし、同じ種類と出会えさえすれば、繁殖することができます。エサとなる海藻が生い茂る春には、何個体ものアメフラシが数珠繋ぎになって交尾し、焼きそば麺のような卵を産みます。

愛のハグ

「コウイカ」

オスは体の色を変化させてメスに近づき、腕を高く上げて求愛します。イカの交尾は「交接」と呼ばれ、求愛が成功すると抱き合うように腕を強く絡ませて、メスはオスから精子の入ったカプセルをもらいます。産卵期になるとメスはオスに守られながら、水槽内のロープなどにしずく型の卵を産みつけ、産卵を終えると1年という寿命を迎えます。

愛のダンス

「クエ」

繁殖期になるとオスの体には婚姻色が現れ、背側は黒っぽく、腹側は白っぽくなります。オスは、気になるメスに向かって大きな体をブルブルと震わせて求愛します。その様子は、まるでダンスをしているかのようです。

むずかしいはなし

ペンギンの「食」



野生のペンギンは魚・イカやタコなどの頭足類、オキアミなどの甲殻類を食べています。最近ではクラゲを食べることもあるという新たな発見があったようです。地球上には18種類のペンギンが生息していて、チリやペルーの沿岸にすんでいるフンボルトペンギンは主にカタクチイワシなどの小魚を食べ、南極大陸周辺に生息しているアデリーペンギンはオキアミを主食とする等、それぞれの種や地域によって、主に何を食べるかは少しずつ違うようです。ちなみに、ペンギンはあまり味がわからないようです。私たち人は5つの味覚「旨味」「甘味」「塩味」「酸味」「苦味」を感じ取れますが、ペンギンには「塩味」「酸味」しかなく、その他の味覚は失っているようなのです。

味覚にはそれぞれ役割があり、旨味はタンパク質の有無、甘味は糖分の有無、塩味はミネラルの有無、酸味は腐敗していないかどうか、苦味は毒がないかどうかを判断していて、味覚から体に必要な物、害のあるものなどの情報を得ています。ではなぜペンギンの味覚は、「塩味」「酸味」だけなのかというと、「旨味」(※)「甘味」「苦味」を伝達するのに必要な「TRPM5」というたんぱく質が、低温では機能しにくくなるということから、ペンギン達が寒い環境で生きていけるように適応していく中で、これらの味覚を感じるものがなくなり、必要なくなったからだと推測されています。この、「旨味」「甘味」「苦味」を感じないことが分かっているのは、今のところアデリーペンギン・ヒゲペンギン・コウテイペンギン・イワトビペンギン・オウサマペンギンの寒冷地に生息している種類ですが、温暖な地域に生息しているペンギンも、元々は南極から分布していったことを考えると、同様に味覚が失われていると考えられます。また、ペンギンは獲物を丸のみにして食べることも、味覚がなくなった要因の1つなのかもしれません。

ペンギンの口の中

(※「旨味」については、鳥類全般で喪失されていますが、その理由は分かっていません。)

ここで、ペンギンたちが苦味を感じないのに、どうやって毒の有無を判断しているのかと思う方もいるかもしれませんが、これに関しては今のところ分かっていません。成長の過程で他のペン

ギンから学ぶのか、はたまた毒のある生物を食べてしまうこともあるのか、今後の研究で明らかになるのを期待するところです。

ちなみに、当館のペンギンたちは何を食べているかというと、オウサマペンギンはホッケ、ジェンツーペンギンはコマイ、キタイワトビペンギンはシシャモ、フンボルトペンギンはアジを食べています。ペンギンの種類によって体の大きさや口の大きさにあった魚を選定しており、また安定して手に入る魚というも条件に含まれています。



▲ オウサマペンギン



▲ ジェンツーペンギン



▲ キタイワトビペンギン



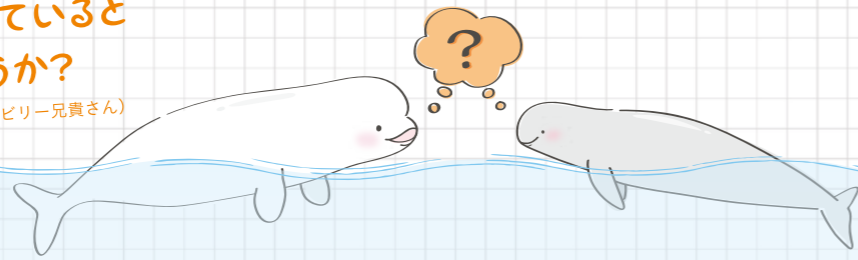
▲ フンボルトペンギン

ただ、魚の漁獲量が減少しているため、最近ではこれらの魚が入手しづらくなってきています。みなさんも、ニュースで見たり、スーパーで買うお魚の値段が上がったりと実感する機会があるのではないのでしょうか。私たちの生活に影響が出るほど漁獲量が減少しているということは、海の生物にはもっと影響が出ているであろうと危惧しています。南極では気候変動によりオキアミが減少し、ペンギンの生息数が減ってきているといます。私たちの生活が遠い場所に及ぼす影響も与えていると自覚し、皆さんも環境保全に目を向けていただけたらと思います。

(海獣展示課ペンギン係 田邊 建人)

Q シロイルカとスナメリはよく似ていると私は思うのですが偶然でしょうか？

(愛媛県 ペンネーム ビリー兄貴さん)



もともとは別の生き物から進化した結果似たような姿になったので、偶然というよりはなるべくしてなったというのが答えでしょうか。

シロイルカとスナメリ、たしかによく似ていますよね。白っぽくて、背びれがなくて、バンドウイルカのように突き出た口がなくて…。しかし、同じ鯨類ではありますが棲む場所も、分類のグループ(科)も違います。

シロイルカは北極圏の寒い海に棲むイッカク科の鯨類です。体長5mにもなることもあり、流氷にまぎれるための保護色として白い体をしているといわれています。寒い海でくらすため脂肪がたくさんついて体を触るととても柔らかいです。

一方のスナメリはアジアの沿岸、浅い海に棲むネズミイルカ科の鯨類です。体長は成獣になっても1.5mほどで、濁った海にまぎれるために灰色の体をしているといわれています。温帯に生息するためバンドウイルカなどと同じような触り心地で、シロイルカのような柔らかさはありません。

このように、シロイルカとスナメリ、容姿は似ていますが生態に着目してみるとかなり違うことがわかります。それぞれがくらす環境に合うように進化し、結果的に容姿がそっくりになったのでしょう。

Q フンボルトペンギンの巣の前に緑色の卵がありました。ほんものですか？にせものの卵なら何のためにありますか？

(鳥根県 ペンネーム みっちゃんさん)



みっちゃんさんが見た緑色の卵は、飼育スタッフが作ったにせものの卵で「擬卵」といいます。巣から転がり出たものを発見されたのでしょう。

擬卵は、ペンギンをだますために使います。本物の卵の代わりに抱かせるのです。水族館では、同じ親から産まれたペンギンたちが一緒にくらすことが多く、血のつながったペンギン同士で繁殖してしまうことがあります。そうすると血縁関係が濃くなってしまふため、全国の動物園、水族館と連携し血統の管理を行っています。近縁で卵を産んでしまった場合は、卵がかえらないように取り上げてしまいます。卵を取り上げると、卵が無くなったことに気づいたペンギンは、また新たな卵を産んでしまいます。産卵回数が増えればその分体への負担も大きくなってしまふため、本物の卵を取り上げたら擬卵を抱かせて再び産卵しないようにしています。ちなみにどうして擬卵が緑色をしているかというと、私たちが間違えないようにするためです。ペンギンにとっては、卵の色はあまり関係がないようです。

◎名前、住所、電話番号、年齢(学年)、質問を書いて

①ハガキで質問!

〒697-0004 鳥根県浜田市久代町1117-2
しまね海洋館「神話の海から」係へ郵送

②メールで質問!

school@aquas.or.jpへメール
【件名は「『神話の海から』質問」】

お手紙やアクアスで撮影した写真、生き物の絵なども送ってね!

※応募いただいた作品は、審査の上「神話の海から」に掲載させていただきます。また、作品の返却はいたしません。



アクアメイトの ごぼれ話

はじめまして。初めてごぼれ話を書かせていただきます! 私が一番に紹介したいことは、アクアスには隠された工夫がたくさんあることについてです。

簡単にお伝えしますと、アクアスの楽しみ方は生き物たちを見るだけではない、ということです。皆さんが普段目を向けないところにも、たくさんの工夫があるんですよ! 今回は特に紹介したい工夫について、お話をさせていただきます!

私が最初に気づいたのは、アクアスに入って最初の水槽「石見万葉の磯」です。鳥根県近海で見られる魚たちが泳いでいる水槽ですが、皆さん、ここで一度水槽に背を向けて、壁の方向を見てみてください。



なんと! この壁には魚のシルエットが描かれているんです! アクアスは私も入社する前に何度も遊びに来ていましたが、今まで気づきませんでした。この絵は近くで見るとより離れてみる方がわかりやすいんです。私が気づいたのも、2階にある「いわみふれあいの磯」から下の水槽を覗いているときでした。

このように、アクアスには視点を変えてみると新しい発見がたくさんあります。私もまだまだ見つけられていない面白さが詰まっていると思いますので、いろいろな発見をして教えてくださいね~!

(N.N)



皆さん! アクアスに実は小さな両生・爬虫類コーナーがあるのをご存じですか? 「知ってる!」という方や「え!? あったの!?!」という方もおられるかもしれないですね。両生・爬虫類コーナーには、カメレオン・ヘビ・サンショウウオ・カエルなどがあります。苦手な方もいるかもしれませんが、小さくて可愛いニホンヒキガエルやサンショウウオを見てみてください。「あれ? 意外と可愛いかも」と思うかもしれませんよ! ちなみに私のイチオシは小さなニホンヒキガエルです!

この小さなニホンヒキガエル、実はとても食いしん坊さん

なんです。餌の時間になり、順番にトカゲやサンショウウオに餌をあげていると、「まだかな〜、となりのご飯おいしそうだな〜」と言っているかのように壁に手をつけて立ち上がりながら見ていることがあります。そのシーンを見られたらラッキー!! 思わずクスッと笑ってしまう可愛い姿です。アクアスに来館された際には、ぜひ両生・爬虫類コーナーにも寄ってみてくださいね!

(魚類展示課 森口 健人)



一期一くらげ

昨年の夏、偶然出会ったこちらのクラゲ。円盤のような部分が銀貨に見えることから「ギンカクラゲ」という名前がついたとても美しいクラゲです。しかし、この姿はクラゲのポリプと呼ばれる状態で、いくつものポリプが集まって、この姿ができています。飼育していると、円盤の下から粒状の小さなクラゲがポロポロと生まれてきて、水槽の底がクラゲだらけになることもあります。なんとも不思議なギンカクラゲ、今年の夏にも出会いたいクラゲです。

(魚類展示課 岩澤 愛弥)



ギンカクラゲ(ポリプ)

新 かんちょう 館長に聞く！ 一問一答 いちもんいつとう

2021年7月から、アクアス3代目館長に就任した ^{みななおき} 湊直樹 館長です。『神話の海から』編集委員より質問をさせていただきますので、簡潔にお答えください。



イラスト／経営課 斎藤麻美

第1回目のインタビューは、湊館長ご自身についてお聞かせください。

編集委員：家族構成は？

館長：妻と子ども2人(長女・次女)です。2人ともすでに結婚しており、子どもが2人ずついますので、孫が4人います。

編集委員：スタッフやお客様に呼んで欲しい呼び方はありますか？

館長：役職ではなく「湊さん」がいいです。

編集委員：これまでしてきた部活またはスポーツは？

館長：高校まで野球部に所属しており、ニックネームは「テキサス」。高校1年の秋に右投げ左打ちに改良し、ミート率は高かったもののパワー不足でポテンヒットが多かったことから、そのように呼ばれていました(ポテンヒットのことを「テキサスヒット」と呼びます)。高校1年生の夏はベンチ入りできませんでしたが、秋からはレギュラーとなり、6番ライト。2年生の春の大会では、全山陰高校野球大会(鳥取・島根の大会)で優勝し、その時のTV放送では「テキサスの湊」と放送されました。

編集委員：休日は何をされますか。

館長：妻と買い物、特に近隣(益田市や秋市、阿武町)の道の駅に出かけています。また、天気の良い日は自転車(ロードバイク)に乗っています。R191の持石海岸沿いを走り、田園の中、高津川沿いの道路を走り抜けると気持ちがいいですよ。

編集委員：毎朝、必ずすることは？

館長：「負けないころ」で5時30分に起床。アンテナ状に立った髪を2分で寝かせ、朝のコーヒーを飲みながら新聞の「今日の運勢」を見て、その日の行動スタンスを決めます。6時30分に自宅(益田市)を出発、1時間以上かけてアクアスに向かいます。

編集委員：食べものは何が好きですか。甘いものは？

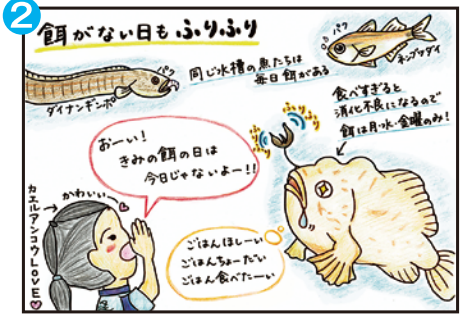
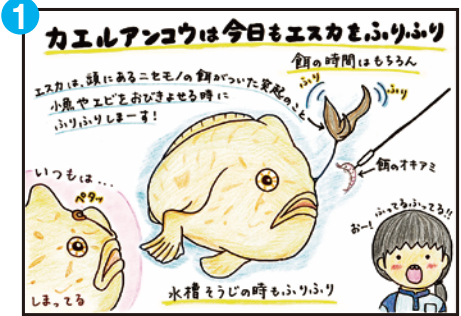
館長：好きな食べ物は、イカのお刺身とアユの塩焼き。毎日、夕食後は、妻と一緒にケーキやプリンを食べます(基本、甘いものは大好き)。ゆめタウン江津内の大判饅頭屋さんの粒あん入りの大判饅頭が大好きです。

編集委員：館長の思う島根西部のおすすめスポットは？(アクアス以外で)

- 館長：①益田市安富町R9号線沿いにある古い自動販売機
クオリティ高い、そして懐かしい味のうどんとラーメンがあります。
- ②山陰のモンサンミッシェルといわれる衣毘須神社(益田市小浜町)
砂浜が参道となり、神社が繋がっている風景には感動します。
- ③津和野町の老舗和菓子店・元祖源氏巻総本舗 宗家
昔ながらの上品でしつこくない甘さ。目の前で焼いてくれるので、その場でかじって食べます。
- ④折居駅と日本海
R9号線から見る、折居駅とそのバックに広がる日本海ののどかな風景を目にする
と「島根に生まれてよかったなあ」と心の安らぎを感じます。

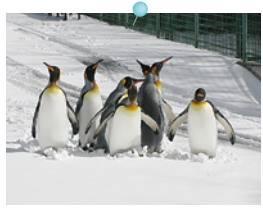
編集委員：ありがとうございました。次号は、アクアスに関する質問にお答えいただきます。

アクアス劇場 第19幕「おそろべし食欲」



by オранже&がんちゃん

とっておきの1枚... アクアス写真展 ほのぼのペンギン



読者の皆様からも『とっておきの1枚』送ってください!

✉ school@aquas.or.jp

※応募いただいた作品は、審査の上「神話の海から」に掲載させていただきます。